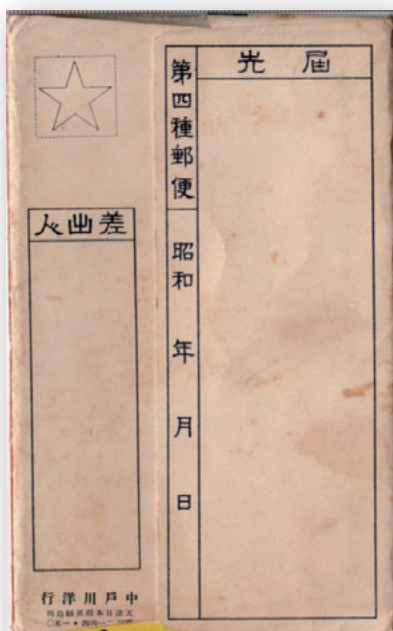




戦前中国の風俗絵はがきの世界 (近藤恒弘氏 寄贈)

珍らしき北支の風俗

孫 安石 (非文字資料研究センター 研究員)



いままで非文字資料研究センターが所蔵する中国の絵はがきの図版を解説することがつづいたが、今回は絵はがきを発行した印刷所や発行所について若干紹介することとしたい。しかし、それにしても簡単には印刷所や発行所については辿り着くことができず、まず、印刷所の元社員らの証言や奥付などの調査からその実態が把握できた「大正写真工芸所」から話を書き起こす必要がある。

「大正写真工芸所」は和歌山市に本社を置き、大正から昭和に至るまでの時期に、日本はもちろん、朝鮮、満洲の絵はがきや各種写真帖を製作したことでその名が知

られている。明治末に和歌山県の大正予備学校にて写真技術を学んだ山崎鹿之助によって設立された「大正写真工芸所」は、最初は絵はがき、卒業写真帖、記念写真帖などで市場を開拓し、満洲事変後は、支店と営業所を東京、大阪に拡大し、中国の新京（現在の瀋陽）、大連、上海、朝鮮の京城（現在のソウル）、平壤などに拡大した。各種の写真帖や絵はがきを印刷してお土産にする印刷事業は、優れたコロタイプ印刷の導入にも助けられ、大いに繁盛し、社員の一人であった山崎鏐一郎は、朝鮮中国方面にも進出し、上海では「大亜公司」という印刷

会社を設立するほどであった。また、1941年の太平洋戦争以降は、「大正写真工芸所」は、陸軍省の仕事も引き受け、シンガポールを航空撮影した写真を元に作戦地図などまで製作するに至ったが、1945年7月の爆撃で和歌山の本社が全焼し、印刷機械や原版などが消失し、1965年にはオフセット印刷に押され、ついに廃業することとなった、という。

ここで「大正写真工芸所」の成り立ちから廃業に至るまでの過程を簡単に紹介した理由は、実は、日本はもとより、帝国日本の版図下においた中国、朝鮮、台湾などにおいてどのような絵はがきが、どれほど発行されたのか、などに関連する詳細な研究は意外に不明なところが多い、と思われるからである。ここで紹介した「大正写真工芸所」（ロゴマークは「ハト」印）の他に、朝鮮では「京城日之出商行」が、台湾では「台北新高堂書店」がそれぞれ大量の絵はがきを発行していたことが知られるのみで、印刷所の社員の聞き取りなどを踏まえて、経営の実態にせまった研究は、ほとんどない。

さて、太田宏一の論文は、「大正写真工芸所」が発行した写真帖、絵はがき、卒業記念帳など合計55冊に対する書名、発行年月日、発行者、印刷者、印刷所、撮影所、住所をまとめた「表」をとりあげているが、天津の部に次のような印刷所名がみえる。

「北支民衆風俗写真帖」、昭和12（1937）年12月10日 天津日本租界福島街五〇ノ二 中戸川洋行 電話一五〇番
「光輝」、昭和13（1938）年3月24日 編集兼発行者、天津日本租界福島街五〇ノ二 中戸川洋行 電話一五〇番

ここでみえる「中戸川洋行」という印刷所こそは、非文字資料研究センターが所蔵する絵はがきの「珍らしき北支の風俗」の奥付と住所、電話番号が一致していることから同一の印刷所であることがわかるが、非文字資料研究センターの近藤恒弘氏の寄贈による資料にはその他の発行形式がちがう写真帖が発行されていたことがわかる（【表1】を参照）。

【表1】「北支民衆風俗写真帖」と「光輝」の奥付（一部）

	書名	編集兼印刷者	印刷所・印刷者	発行者	発行年
1	「北支民衆風俗写真帖」	筒井磯男 大連市白木口調六番地	大正写真工芸所 和歌山市小松原通り一丁目五番地印	中戸川洋行 天津日本租界福島街五〇ノ二 電話一五〇番	昭和12（1937）年12月1日印刷 昭和12（1937）年12月10日発行
2	「新版 北支民衆風俗写真帖」	佐々木三郎 天津日本租界福島街五〇ノ二 電話（二局）一五〇番	中戸川洋行 天津日本租界福島街五〇ノ二 電話一五〇番		不 明
3	光輝一支那事变出征記念写真帖	中戸川洋行 天津日本租界福島街五〇ノ二 電話一五〇番	大正写真工芸所 和歌山市小松原通り一丁目五番地印刷者 山崎鑒一郎	中戸川洋行 天津日本租界福島街五〇ノ二 電話一五〇番	昭和13（1938）年3月15日、印刷 昭和13（1938）年3月25日、発行
4	光輝一支那事变出征記念写真帖	中戸川洋行 天津日本租界福島街五〇ノ二 電話一五〇番	中戸川洋行 天津日本租界福島街五〇ノ二 電話一五〇番	中戸川洋行 天津日本租界福島街五〇ノ二 電話一五〇番	昭和16（1941）年3月15日、印刷 昭和16（1941）年3月25日、発行

【表1】にみえる1と2は、「はしがき」は全く同じ文章で、楽土建設の希望に満ちた北支那を理解するために北京と天津の二大都市の風習を知る必要があり、その風俗の絵巻物として、写真帖を出版することを標榜している。しかし、書籍の体裁は似通っているものの、目次と写真はほぼ重複するものがなく、1の「北支民衆風俗写真帖」の売れ行きが好調であったことから、2の新版を発行したことがうかがえる。

このような事情は【表1】の3と4でも同じで、『光輝一支那事变出征記念写真帖』は、1938年当初の発行から順調に版を重ね、3年後の1941年にも全く同じ内容の写真帖が発行された（1941年版には北支軍報道検閲済という奥付が加わっている）。また、中国に出征した兵隊が現地で購入した写真帖は、その場で内地の住所を記入すれば、通常の郵便より格安の第4種郵便と

して郵送するという工夫が施されていたことも重要である。



【図1】『光輝一支那事变出征記念写真帖』と郵送のための紙箱

以上で、非文字資料研究センターが所蔵する「中戸川洋行」刊行の絵はがきと写真帖をみてきたが、国会図書



館の検索から「中戸川洋行」を検索してみれば、さらに多くの写真帖や絵はがきを発行していたことがわかる。

【表2】「中戸川洋行」発行の写真帖と絵はがき（日本国立国会図書館所蔵、一部）

	書 名	編 集	印刷所	発行年
1	『北支那駐屯記念写真帖：甲府聯隊派遣中隊』	中戸川洋行	中戸川洋行	1930 年
2	『北支那駐屯記念写真帖：大分聯隊派遣中隊』	中戸川洋行	中戸川洋行	1930 年
3	『昭和十二・三年 支那事変出征記念写真帖：北支戦線篇』	中戸川洋行	中戸川洋行	1938 年
4	『支那事変出征記念写真帖：戦車第二大隊』	中戸川洋行	中戸川洋行	1938 年？
5	『支那事変出征記念写真帖：昭和十二・三年』	中戸川洋行編	中戸川洋行	1938 年
6	『支那事変出征記念写真帖：昭和十二・三年 北支戦線篇』	中戸川洋行編輯	中戸川洋行	1938 年
7	『支那事変出征記念写真帖：歩兵第六十六聯隊 水上部隊』	水上部隊編	中戸川洋行	1939 年
8	『支那事変出征記念写真帖：改訂版』	中戸川洋行編輯	中戸川洋行	1941 年
9	『全北支風景写真帖』	中戸川洋行編輯		不明
10	『山海関名所絵葉書』	中戸川洋行編輯		不明
11	『北平名所絵葉書』	中戸川洋行編輯		不明

これだけの写真帖を刊行しているので、天津に関連する案内書と概観などをまとめた復刻版の『近代中国都市案内集成—北京・天津編』を巡って見たら意外にその名前が出てこない。そのかわりに天津旭街にて 1910 年代にはすでに営業を開始している「中裕洋行」の代表者が中戸川孝介という人物であることがわかる（【図2】を参照）。



【図2】「中裕洋行」の広告（『近代中国都市案内集成—北京・天津編』第20巻より）

ここでみえる「中裕洋行」の名前は、天津商工会議所が刊行した『天津概観』（付天津商工名録、1927年）にもその名前が登場し、取り扱う営業は「各種雑貨、銃砲、火薬、写真、空瓶及び洋酒缶詰商」という記述がみえるが、中戸川洋行の代表者が中戸川孝介であるという確定はまだできない。

ここまで書いていたのだが、事務室の中村裕史さんから近藤コレクションの寄贈図書『昭和十四年 天津邦人芳名録』（1940年）に「中裕洋行」に関連する記載が

あることを教えてもらった。それによれば、同芳名録の2頁の「商社」のカテゴリーの中に中裕洋行があり、62頁の住所は日本租界旭街四〇ノ一、店主は「中戸川孝造」という記載がみえ、さらに97頁には、旭街四〇ノ一にある中裕洋行（洋品）の店主「中戸川孝造」（兄？）と並んで、福島街五〇ノ二には中戸川洋行（用達）があり、店主は中戸川義雄（弟？）という記述がみえるという。ましてや、この二人の本籍地の住所は神奈川県足柄下郡足柄村荻窪四二で、名前の「孝」の字も一緒であることから「中裕洋行」の代表者「中戸川孝介」は、「中戸川孝造」の父親と考えても良からう。

もう一つ、【図2】「中裕洋行」の広告や宣伝の文言から当時の天津日本租界で営業していた写真撮影や印刷所の内部の姿が確認できることは興味深い。その他、「中裕洋行」が「北支那」を冠して刊行した写真帖『駐屯記念 北支那大観』は、1917年3月に第1版が発行された後、毎年、最初の数頁のみを差し替えた後、増刷を繰り返し、1920年7月には第6版までを発行しているからよほど売れ行きが良かったこともわかる。日本人が抱いていた中国のイメージは、この連載で紹介した絵はがきと各種の写真帖などが大きな役割を果たしたことに間違いなからう。これら絵はがきの残した宿題はまだまだ多く残されている。

【参考文献】

- ・太田宏一「大正写真工芸所について」（『和歌山市立博物館研究紀要 24』、2010年）
- ・『近代中国都市案内集成—北京・天津編』第19巻～第25巻（ゆまに書房、2012年）
- ・『昭和十四年 天津邦人芳名録』（1940年）